

ることのためであった。この理由を述べておらう。
そしてそのために、吾等は何故に無産階級による共同戦線黨が我
無産階級にとって必要であるかの根拠を徹究し、而して有産階級が
無産階級政治運動を小ブルジョアの政治闘争に導き、黨を、無産階
階級の政意に變換せしめやうとすることを喫緊するであらう。
而して、それ故に三階級排斥の問題を提上せられた三階級の分の
問題ではなくて、無産階級にまつての全階級の問題であることを述
べておらう。

全國的共同戦線黨を必要なら しむるところの我が無産階級 の社會的地位

大正七八年歐戰爆發時、我國資本主義の異常なる發展、未曾有
の好景氣時代に於ては、我國の無産階級は労働組合による個々の資
本家に對する労働條件の維持改善のために闘争し、時には敗北する
こともあつたが、對勝利を獲得することも出来た。
その後、即ち大敗安、資本主義經濟の國際恐慌の波は（回復す
ることなき資本主義の長期に於ける永久の恐慌）、我國にも波及し
此危機は全國的に擴大し、益々深刻化して來た。

斯かる異常な政治的形勢、吾等は政治的階級階級を、無産階級の敵
前に對峙せざるを得なかつた。

斯る無産階級と階級は無産階級の政治的意識を喚起した。即ち我國の
勞農大衆は、その發展過程に於て、今やブルジョアの政治的支配に
對する無産階級のあらゆる努力を集中統一した闘争、政治的闘争の
必要を認識するに至つたのである。

當面の闘争目的

一般的標準賃銀の獲得、失業反對、耕作權、職權の確立、無産階
階級運動を擁護する一切の憲法の廢除、言論集會結社の自由、普通
選挙の徹底等、約言すれば無産階級政治運動の當面の目的は、帝
國主義時代に於ける封建的遺物に對する闘争、反動化しつゝ、ある資
本階級に對する闘争、即ち民主主義の獲得のための政治的闘争で
ある。

組織形態、共同戦線黨の必要

斯る我無産階級の政治的闘争の當面の目標は、都市プロレタリア
と農村無産階級の、更に中間階級下層分子との政治的共同戦線に

その結果は、以前には時々勝利を得ることの出来た労働攻撃が
（それすら物價の騰貴等によつて貧窮化して相殺されてゐたのであ
るが）、貧窮化、時間延長、組合の破壊等、資本階級の攻撃
に對し、階級の擁護及獲得した時間と賃銀を守るための戦ひにそ
一變した。
失業者の層出による失業問題、一般的標準賃銀の増進等は、次
から次へと階級の前に提上されて來た。

他方農村に於ける小作人運動に於ても、漸く從來の地主に對する
農民組合の分による闘争は、既に一定の段階にまで到達した。
更に遡進前に於ける資本階級は、無産階級に對する能なき經濟
的擯取と共に、無産階級運動に對しては最大の努力と細心の注意を
以て彈壓しきつるに至つた。

斯くて我無産階級は、労働組合、小作組合による奮戦にも拘らず
都會に於ては労働條件の絶對的低下、失業者の層出、失業不安、農
村に於いては、小作人及び小自作農の窮乏を経験しつゝある。

而して斯くの如き情勢は必然に都市と農村を通じての階級闘争を
激化せしむると同時に、資本家及び地主に對する經濟闘争が、ブル
ジョアの政治的敵力との衝突を招致し、支配階級の無産階級運動に

よる闘争を必要とする。

斯くて全無産階級の共同戦線黨、全國的、統一無産階級黨の成立
が、我無産階級運動の進んだ段階に於ては必要なのであつた。

労働農民黨の誕生

第一次無産階級が禁止されて後尙幾多の困難に遭遇しながら、然
も勞農大衆の切實な要求と、努力によつて労働農民黨が組織される
に至つたのは、斯くの如き理由、社會的根拠に基いたものである
つた。

労働農民黨の無産階級的性質と 其の任務

成立した労働農民黨——無産階級解放運動過程に於ける歴史的、一
段階の特殊な使命を帯びた労働農民黨は、云ふまでもなく小ブルヂ
ョアの代議士選擧黨であつてはならなかつた。然しそれは無産階
級階級でもなく、大衆的な組織をもつた黨でなければならぬと同
時に、無産階級の日常政治闘争を活動に指導し、無産階級の政治意
識を喚起し、更に大衆的政治行動の訓練を興へることによつて無産
階級の政治運動を發展せしめ、その特殊な使命を果すべく努めなけ